

平成23年度 第2回 CCC 芸術系グループ運営委員会 議事概要

I. 日時：平成23年10月8日（土曜日） 午前10時～午後1時

II. 場所：私立大学情報教育 事務局 会議室

III. 出席者：有馬委員、井澤委員、久原委員、西垣委員

スカイプ参加：小川委員、宮田委員

（事務局）井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

1、事務局資料配布と説明

事務局から以下の参考資料についての説明があった。

- 「美術・デザイン学における教育における学士力の考察・中間まとめ案1、2」
- 「学士力の実現を目指すICT活用授業の開発モデルの例示（メモ）」
- 現在までに報告された、他の学系「教育改善モデル、中間まとめ案」（「英語教育1、2」。「国際関係学1、2」合計4枚。
- 「平成23年度 CCC 芸術系グループ運営委員会名簿」

2、司会と議事録担当を決める。

V. 検討内容

1、3-1 学士力実現に求められる授業改善モデルの中間まとめについて

「美術・デザイン学における教育における学士力の考察・中間まとめ案1、2」
の④—①から内容確認

- 「視覚芸術表現」の標記について再考が必要と提示されたが、2年前に公表されていることから変更不可能でありことから、今回はこの標記にて進行することに合意。
- 2の「授業デザイン」見直しから検討を始めることとした。
- 教育の目的となるスタートラインが標記されていることが必要との意見から「2—2授業計画」を「2—2授業の仕組み」とし、4行目より以下と変更された。

．．．

多くの感性から学ぶために、多面的な視点で創作や鑑賞ができるよう、美術・デザインに加えて様々な分野の教員間でコンソーシアムを形成して協働するためのプラットフォームを構築しておく。その上で、授業時間外でも学びを可能にするグループ学習の仕組みや学習支援の体制を構築し、相互評価や社

会の評価を受けられるようにすることで到達度を確認する。

- 2 2-3 「ICT を用いた授業シナリオ」の項目においても上記から、他分野の中間まとめ案を参照しながら見直しがおこなわれ、2行目の①から以下に変更された。

• • •

- ① 課題を提示し、調査・分析し、コンセプトを考えさせ、制作させる。
- ② 課題に対して制作した作品をネット上にアーカイブし、課題作品に対してネット上で相互評価をおこない、作品表現の多様性を認識させる。
- ③ コンソシアムの中で他分野からの多様な意見を踏まえて、制作した課題について振り返りを行い、様々な自然現象や社会現象を踏まえた上で意味のある作品を完成させる。
- ④ 学習成果をネット上で発表し、社会の意見・反応を踏まえて学びを発展させる。

他に、教員間のコンソシアムを作る必要性が論じられた。

V、次回日程と内容について

10月27日までに「中間まとめ案」を作成完了し、メールにてサイバーFD 研究委員に配信。

1週間位でアンケート回答を回収し、内容を確認して11月に開催される臨時総会に提出することから、アンケート結果を吟味する必要がある。

今回は、「中間まとめ案2」につてまとめる運営委員会を開催する。

日時：10月27日（木曜日）10:00～

場所：私立大学情報教育協会 事務局会議室